

2015年11月11日

株式会社 リクルートマーケティングパートナーズ

ブライダル総研 結婚総合意識調査2015

- ◆約7割が結婚式を実施(実施決定含む)
- ◆「結婚式は親孝行になる」の上昇、「段取りや準備をするのは楽しい」の減少が結婚式観において大きな変化

※結婚式とは、挙式または披露宴・披露パーティ

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ(本社:東京都中央区 代表取締役社長 山口 文洋)が運営するリクルートブライダル総研では、結婚や結婚式について詳細を把握するために、「結婚総合意識調査2015」を実施しました。ここに、調査結果の要旨をご報告いたします。

<結婚式の実施率>.....P3~7

結婚式の実施率は69.0%

- ✓ 挙式と披露宴・披露パーティ両方の実施率:58.9%、挙式のみ実施率:9.3%、披露宴・披露パーティのみ実施率:0.8%で69.0%が結婚式を実施。
- ✓ 挙式の実施率は68.2%。披露宴・披露パーティの実施率は59.7%。
- ✓ 比較的实施率の低い「40代」、「再婚」、「妊娠」といった層において、いずれも挙式の実施率が前年調査より上昇。

※実施率には、すべて「時期・内容をほぼ決定」を含む

<結婚式観>.....P8

結婚式観で最も高いのは「結婚式は素敵」。前年調査より「結婚式は親孝行になる」の上昇、「段取りや準備をするのは楽しい」の減少が大きな変化

- ✓ 結婚式観の上位3項目は「素敵だ」:66.9%、「段取りや準備は面倒」:66.7%、「行うことは、親孝行になる」:65.9%。
- ✓ 前年調査からの変化でみると「行うことは、親孝行になる」(14年調査57.7%→15年調査65.9%)、「段取りや準備をするのは楽しい」(14年調査41.1%→15年調査35.5%)、「みんなから注目されるのは嫌だ」(14年調査32.6%→15年調査37.8%)が大きな変化となった。

※2015年調査より「[結婚式を]立派に行うことは、親孝行になる」から「[結婚式を]行うことは、親孝行になる」に変更

<結婚による変化>.....P9

結婚による生活の変化をみると、「家族としての絆が得られる」「好きな人と一緒にいられてうれしい」「精神的安定が得られる」が男女共通の3大要素である。一方、男女の違いをみると、「家事の負担が増える」が大きな差になっている。

- ✓ 結婚による生活の変化は、「家族としての絆が得られる」:男性78.8%/女性86.7%、「好きな人と一緒にいられてうれしい」:男性75.7%/女性83.7%、「精神的安定が得られる」:男性75.3%/女性81.5%。
- ✓ 男女差の大きい項目は「家事の負担が増える」:男性36.3%/女性66.3%。

- ◆ 出版・印刷物へデータを転載する際には、「結婚総合意識調査2015(リクルートブライダル総研調べ)」と明記いただきますようお願い申し上げます。
- ◆ 「結婚総合意識調査2015」の詳細は、下記広報担当までご連絡ください。

リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにない、出会い。」を届けることを目指していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

【調査概要と回答者のプロフィール】

■2015年調査

本調査(予備調査含む)

【調査方法】 インターネットによるアンケート調査

【調査期間】 2015年4月8日(水)～2015年5月7日(木)

【調査対象】 “結婚した時期”を「2014年4月～2015年3月」と回答した、20～49歳の既婚者

【集計サンプル数】 1500人

割付:「厚生労働省 人口動態統計の平成25年度婚姻件数」を基に全国を18エリア毎の婚姻件数比率に近くなるようにサンプル数を割り付けた

【回答者の男女別結婚時の年齢×居住地域】

		北海道	東北	北関東*	北陸甲信越	首都圏	東海	関西*	中国	四国	九州・沖縄
男性	20代(19歳含む)	8	13	13	17	58	31	31	9	9	20
	30代	13	21	20	36	116	28	60	25	8	37
	40代	10	14	6	12	61	9	30	9	4	21
女性	20代(19歳含む)	8	27	16	44	118	44	58	19	8	37
	30代	19	17	19	19	93	21	52	16	11	40
	40代	3	2	2	1	23	4	12	6	1	9

※:「関西・男性」「北関東・女性」に年齢について、結婚時の年齢が不明だったサンプルが各1サンプルあり、年齢別分析では除いている

■2014年調査

本調査(予備調査含む)

【調査方法】 インターネットによるアンケート調査

【調査期間】 2014年5月17日(土)～2014年6月19日(木)

【調査対象】 “結婚した時期”を「2013年4月～2014年3月」と回答した、20～49歳の既婚者

【集計サンプル数】 1498人

割付:「厚生労働省 人口動態統計の平成24年度婚姻件数」を基に全国を18エリア毎の婚姻件数比率に近くなるようにサンプル数を割り付けた

追加調査

【調査方法】 インターネットによるアンケート調査

【調査期間】 2014年5月30日(金)～2014年6月19日(木)

【集計サンプル数】 本調査1498人を対象として、回収があった1456人(回収率97.2%)

【回答者の男女別結婚時の年齢×居住地域】

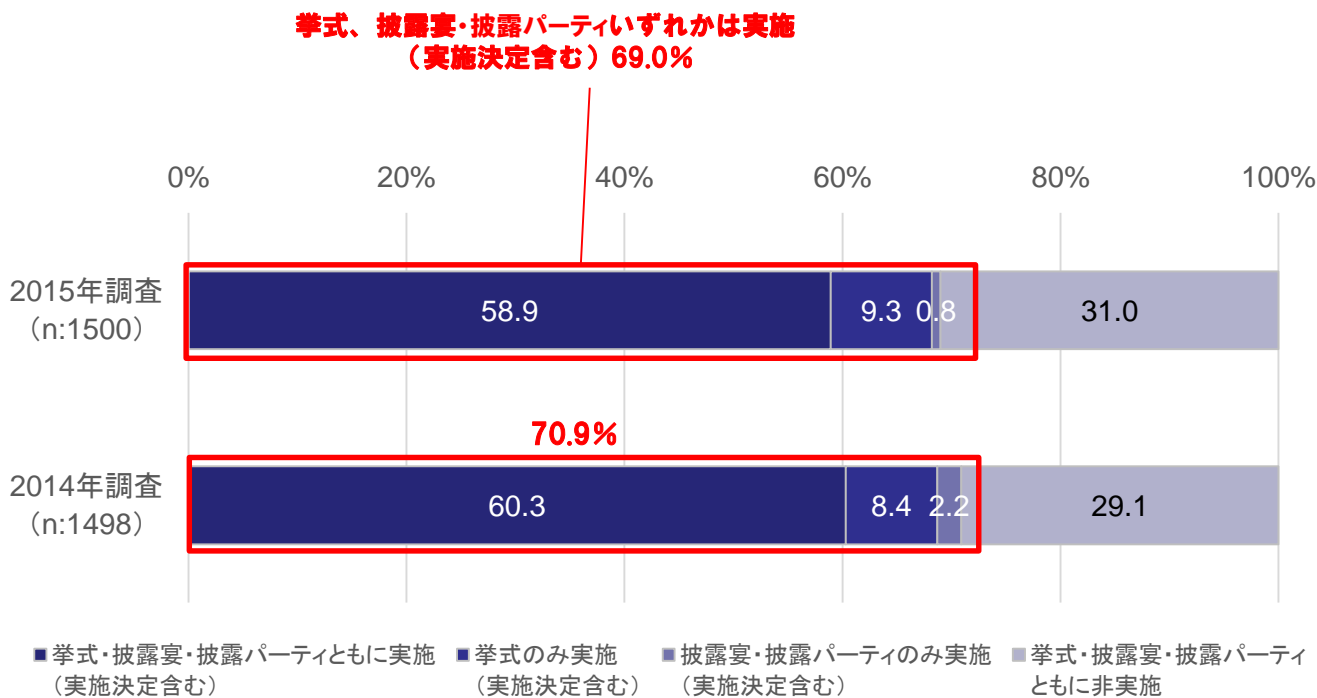
		北海道	東北	北関東	北陸甲信越	首都圏*	東海	関西	中国	四国	九州・沖縄
男性	20代(19歳含む)	14	13	14	16	59	18	31	12	7	29
	30代	14	24	15	35	124	34	53	18	11	37
	40代	3	11	10	13	51	17	30	12	3	20
女性	20代(19歳含む)	20	29	22	36	121	35	71	24	12	58
	30代	10	17	14	26	101	30	41	17	7	23
	40代	0	1	2	2	13	4	9	0	1	3

※:「首都圏・男性」に年齢について、結婚時の年齢が不明だったサンプルが1サンプルあり、年齢別分析では除いている

結婚式の実施率(実施決定含む)は69.0%で前年調査より1.9ポイント減少。

※結婚式とは、挙式または披露宴・披露パーティ

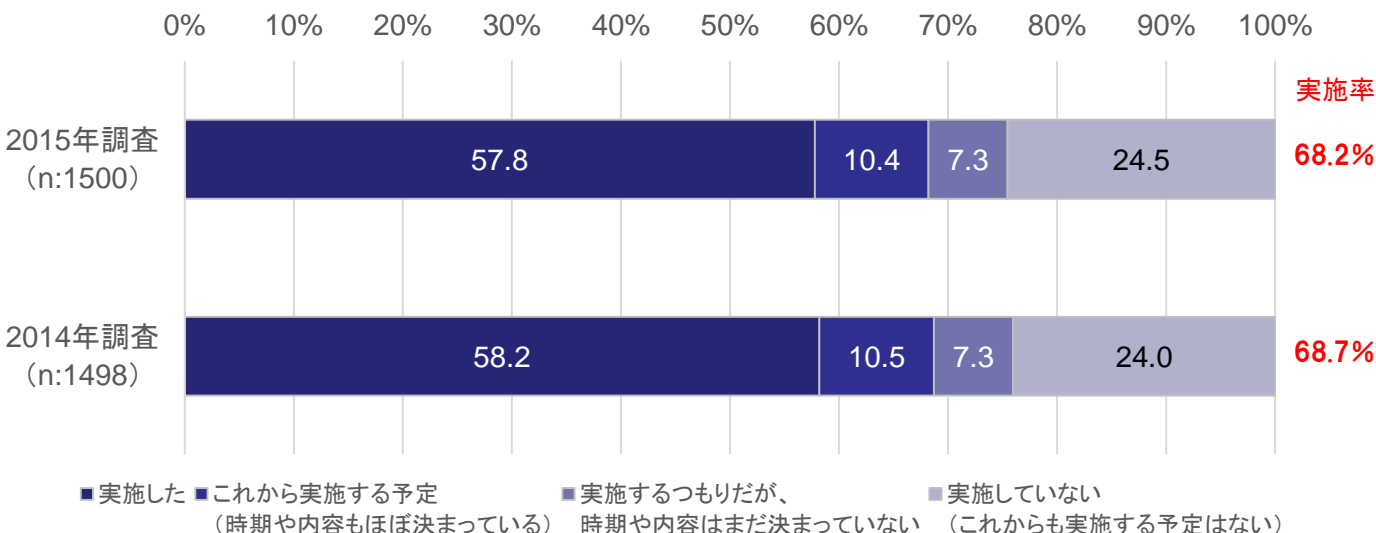
■挙式または披露宴・披露パーティを実施した割合(単一回答)



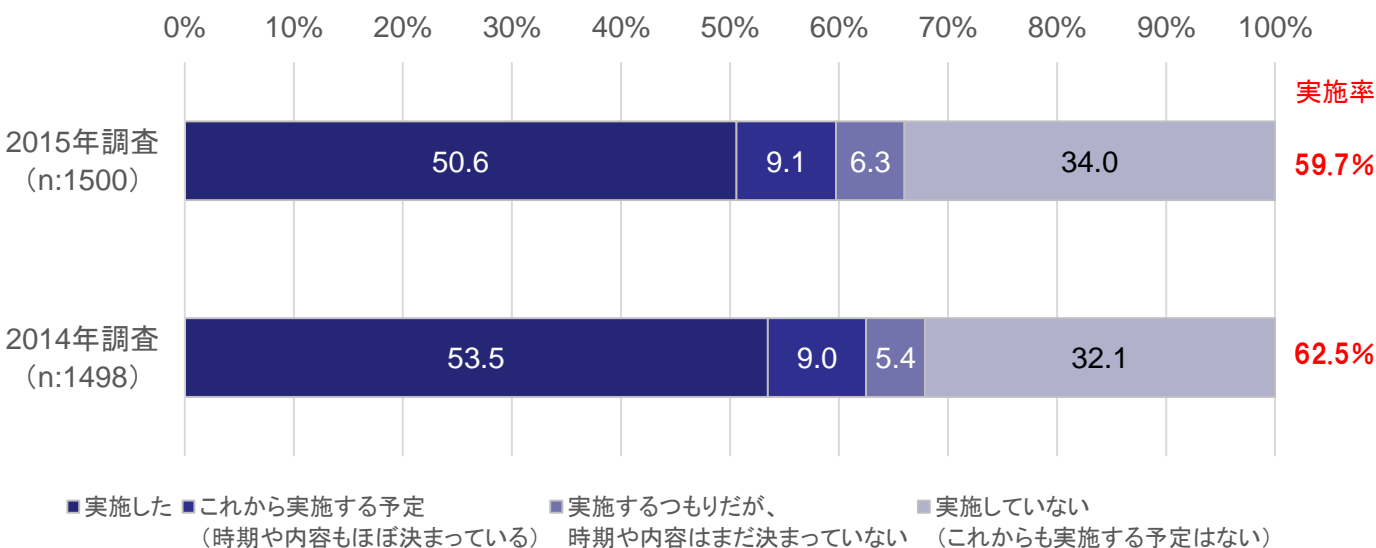
挙式の実施率(実施決定含む)は68.2%で前年調査より0.5ポイント減少。
披露宴・披露パーティの実施率(実施決定含む)は59.7%で前年調査より2.8ポイント減少。

※実施率:「実施した」+「これから実施する予定(時期・内容ほぼ決定)」

■挙式の実施率(単一回答)



■披露宴・披露パーティの実施率(単一回答)

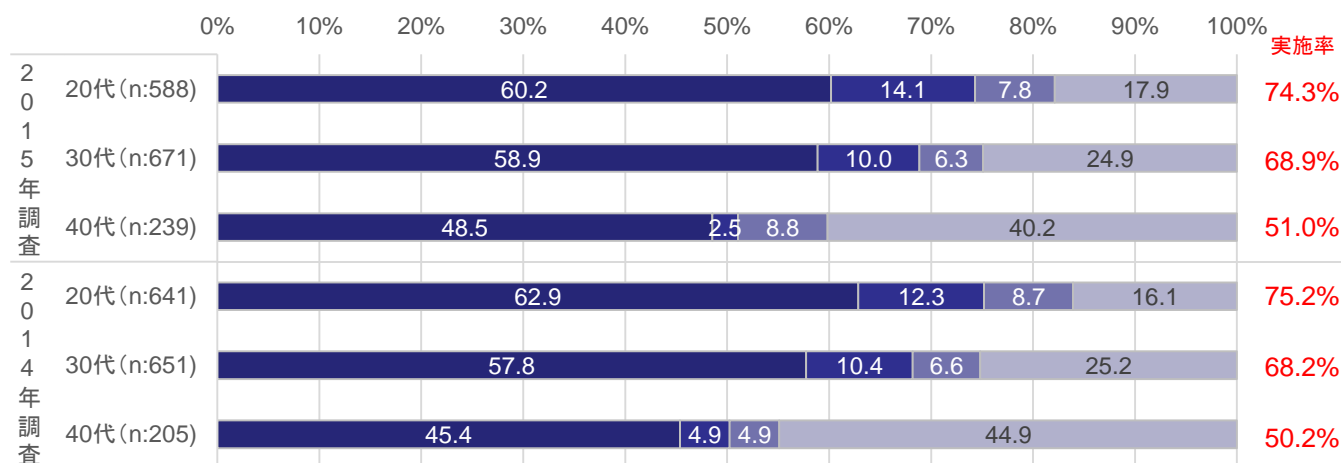


挙式・披露宴・披露パーティの実施率(本人結婚時年代別)

本人結婚時年代別の挙式実施率(実施決定含む)は、20代:74.3%、30代:68.9%、40代:51.0%。
披露宴・披露パーティ実施率(実施決定含む)は、20代:67.2%、30代:59.2%、40代:42.7%。
前年調査より「40代」の挙式実施率は0.8ポイント、披露宴実施率は3.2ポイント上昇。

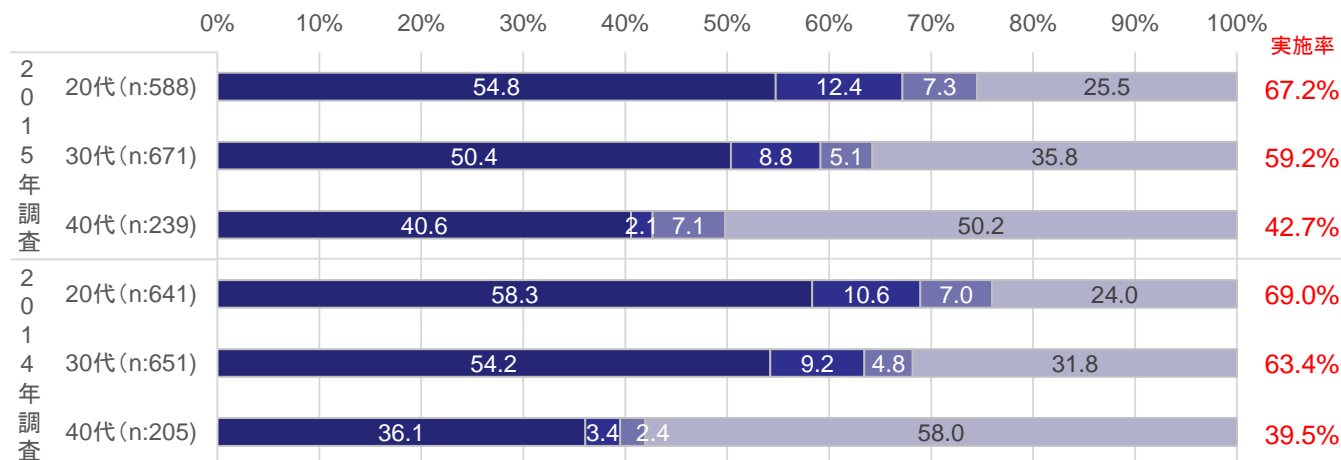
※実施率:「実施した」+「これから実施する予定(時期・内容ほぼ決定)」

■挙式の実施率(本人結婚時年代別/単一回答)



■実施した ■これから実施する予定 (時期や内容もほぼ決まっている) ■実施するつもりだが、時期や内容はまだ決まっていない ■実施していない (これからも実施する予定はない)

■披露宴・披露パーティの実施率(本人結婚時年代別/単一回答)



■実施した ■これから実施する予定 (時期や内容もほぼ決まっている) ■実施するつもりだが、時期や内容はまだ決まっていない ■実施していない (これからも実施する予定はない)

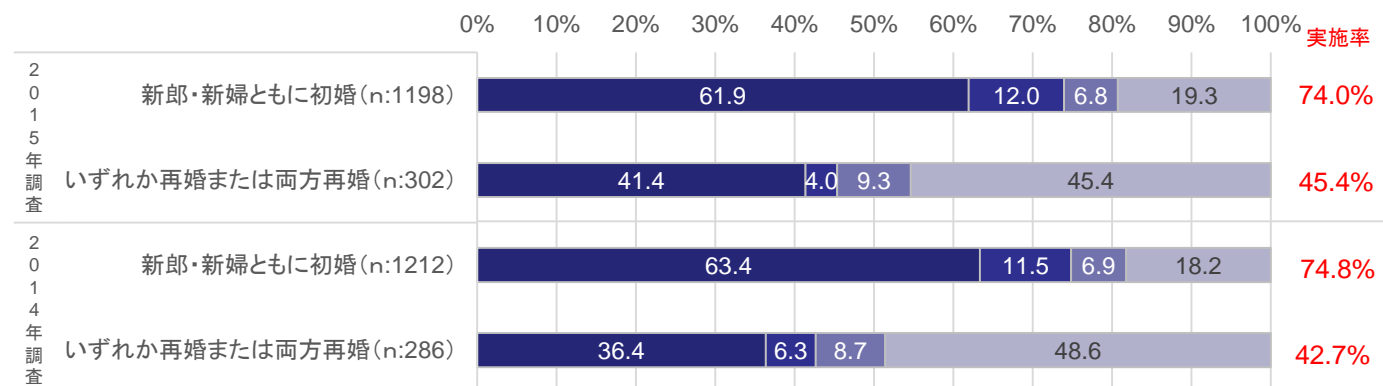
※百分率は小数第二位を四捨五入しているため、実施率と内訳は一致しない場合がある

挙式、披露宴・披露パーティの実施率(初再婚組み合わせ別)

初再婚別に挙式実施率(実施決定含む)をみると「新郎・新婦ともに初婚」:74.0%、「いずれか再婚または両方再婚」:45.4%。披露宴・披露パーティ実施率(実施決定含む)は「新郎・新婦ともに初婚」:65.9%、「いずれか再婚または両方再婚」:35.1%。
「いずれか再婚または両方再婚」の挙式実施率は前年調査より2.7ポイント上昇。

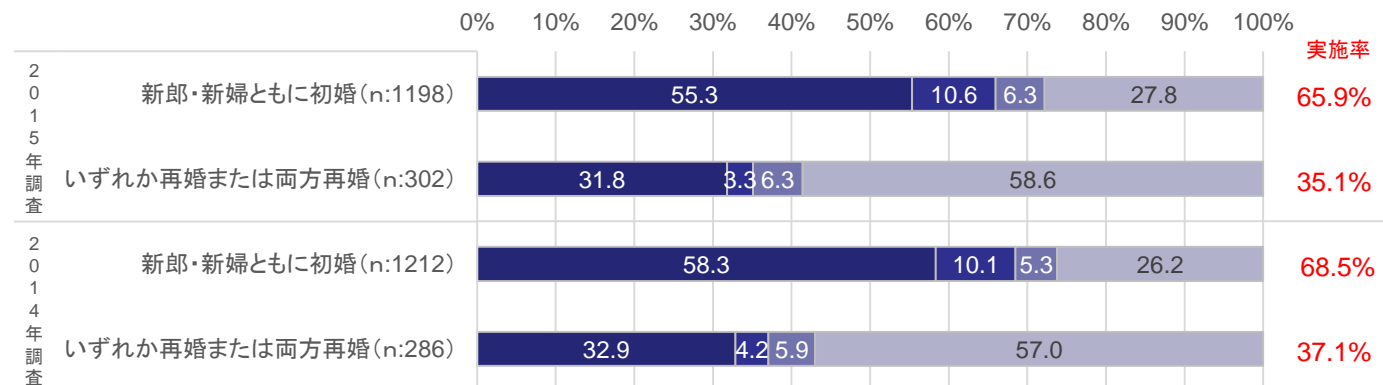
■挙式の実施率(初再婚組み合わせ別/単一回答)

※実施率:「実施した」+「これから実施する予定(時期・内容ほぼ決定)」



■実施した ■これから実施する予定 (時期や内容もほぼ決まっている) ■実施するつもりだが、時期や内容はまだ決まっていない ■実施していない (これからも実施する予定はない)

■披露宴・披露パーティの実施率(初再婚組み合わせ別/単一回答)



■実施した ■これから実施する予定 (時期や内容もほぼ決まっている) ■実施するつもりだが、時期や内容はまだ決まっていない ■実施していない (これからも実施する予定はない)

※百分率は小数第二位を四捨五入しているため、実施率と内訳は一致しない場合がある

挙式・披露宴・披露パーティの実施率(妊娠状況別)

結婚時の妊娠状況別に挙式実施率(実施決定含む)をみると、「妊娠していない」:71.0%、「妊娠していた」:47.8%。披露宴・披露パーティ実施率(実施決定含む)は、「妊娠していない」:62.2%、「妊娠していた」:41.6%。「妊娠していた」層の挙式実施率は前年調査より3.7ポイント上昇。

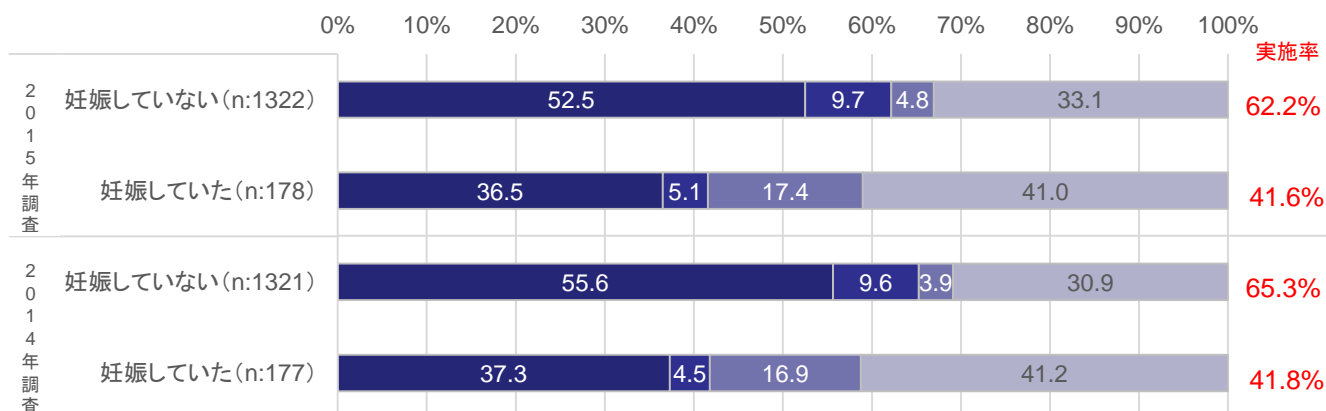
※実施率:「実施した」+「これから実施する予定(時期・内容ほぼ決定)」

■挙式の実施率(結婚を決めた当時の妊娠状況別/単一回答)



■実施した ■これから実施する予定 (時期や内容もほぼ決まっている) ■実施するつもりだが、時期や内容はまだ決まっていない ■実施していない (これからも実施する予定はない)

■披露宴・披露パーティの実施率(結婚を決めた当時の妊娠状況別/単一回答)



■実施した ■これから実施する予定 (時期や内容もほぼ決まっている) ■実施するつもりだが、時期や内容はまだ決まっていない ■実施していない (これからも実施する予定はない)

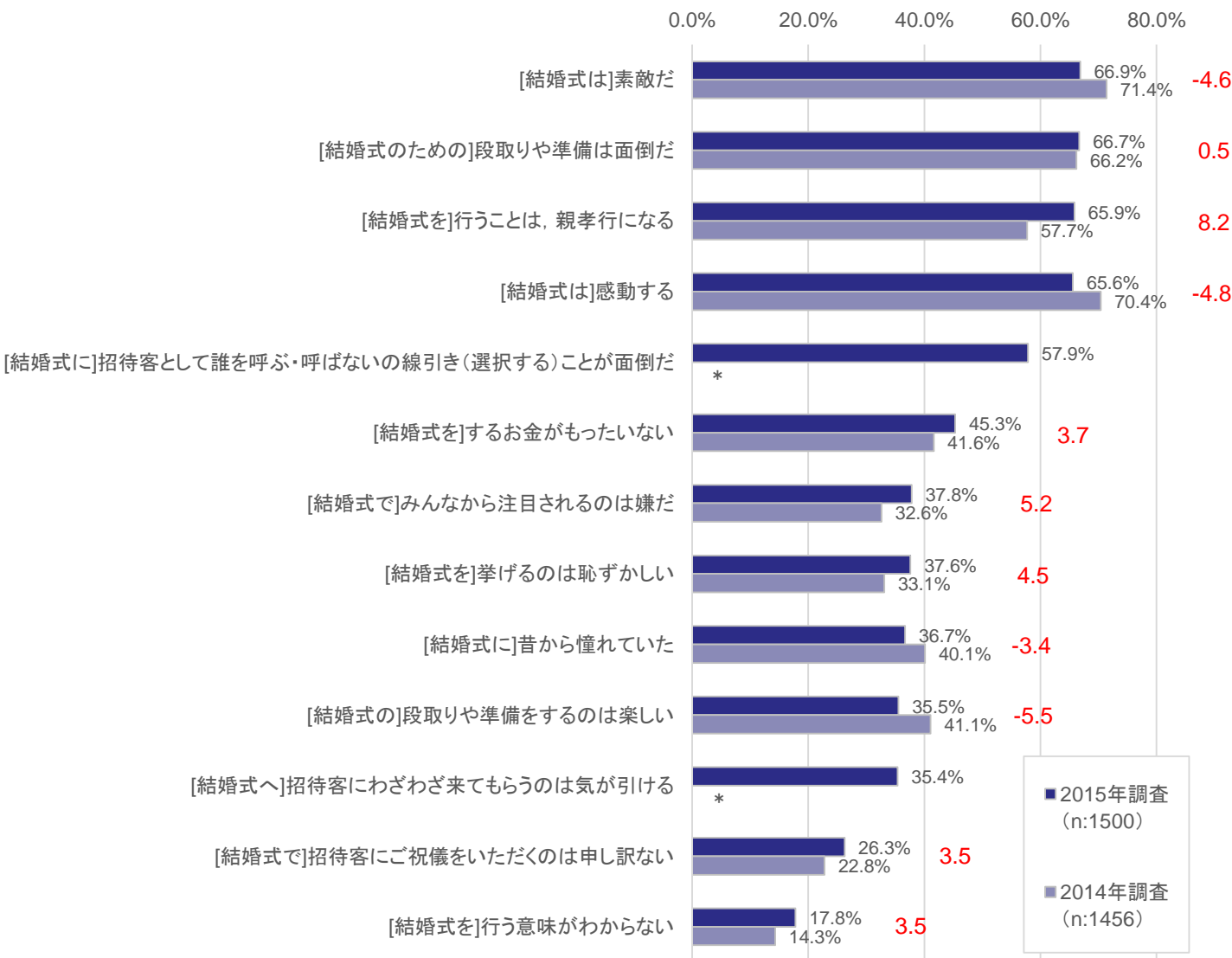
※百分率は小数第二位を四捨五入しているため、実施率と内訳は一致しない場合がある

結婚式観の上位3項目は「素敵だ」:66.9%、「段取りや準備は面倒」:66.7%、「行うことは、親孝行になる」:65.9%。

前年調査からの変化で見ると「行うことは、親孝行になる」(14年調査57.7%→15年調査65.9%)、「段取りや準備をするのは楽しい」(14年調査41.1%→15年調査35.5%)、「みんなから注目されるのは嫌だ」(14年調査32.6%→15年調査37.8%)が大きな変化となった。

■結婚式観(「非常にそう思う」「ややそう思う」計/それぞれ単一回答)

前年ポイント差
(赤字)



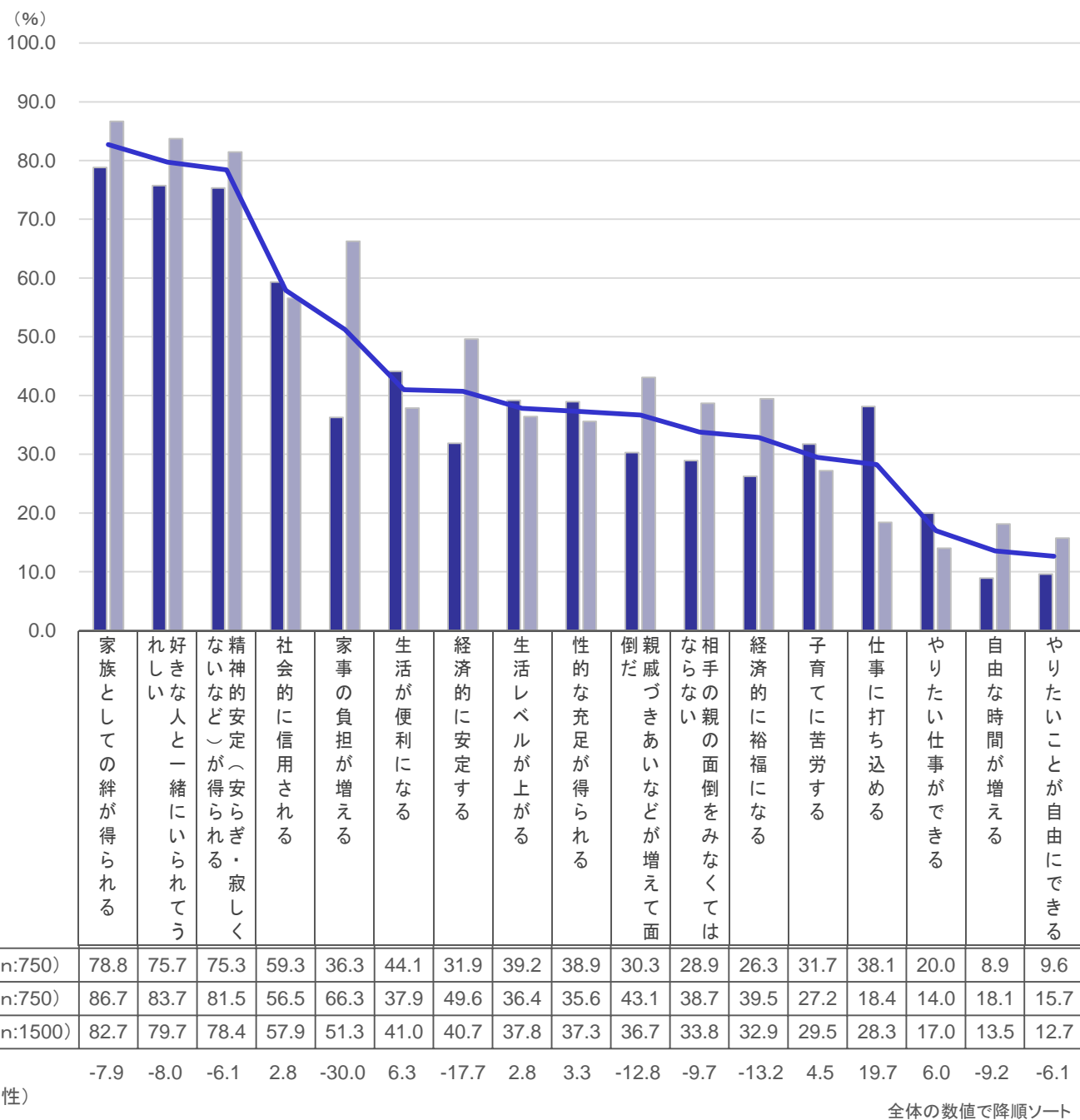
2015調査の数値で降順ソート

※ 2015年調査より「[結婚式を]立派に行うことは、親孝行になる」から「[結婚式を]行うことは、親孝行になる」に変更

※ 百分率は小数第二位を四捨五入しているためポイント差は一致しない場合がある

結婚による生活の変化は、「家族としての絆が得られる」:男性78.8%/女性86.7%、「好きな人と一緒にいられてうれしい」:男性75.7%/女性83.7%、「精神的安定が得られる」:男性75.3%/女性81.5%。
男女差の大きい項目は「家事の負担が増える」:男性36.3%/女性66.3%。

■結婚生活観「結婚して生活がどのように変わったか」(「非常にそう思う」「ややそう思う」計/それぞれ単一回答)



※百分率は小数第二位を四捨五入しているためポイント差は一致しない場合がある